

(一般情報)

水稲 ICT 研修会を開催しました

～大規模稲作経営における労力補完のために～

夷隅農業事務所改良普及課 平成 30 年 7 月 26 日発

稲作経営の大規模化が進む中で、労働力不足が深刻化していますが、それを担う人材の育成には長い年月と経費がかかるため、ICT を含むスマート農業技術など新技術の活用が必要な状況となっています。

そこで、農業事務所では 7 月 25 日に夷隅地域の大規模稲作経営者等を対象に、ドローン、GPS 田植機など新技術の導入方法の研修及び実演会を開催し、水稲農家 24 名の参加がありました。研修会では、農業事務所からスマート農業技術導入による経営改善策についての説明を行いました。また、農機メーカーから最新技術について説明後、会場に隣接するほ場でドローンの実演が行われました。ドローンは農業者の関心が高く、盛んに質問が出されました。

農業事務所では、今後も地域の稲作経営の改善に向けた支援を行っていきます。



ドローン技術の説明に聞き入る参加者



ほ場を飛ぶドローン